



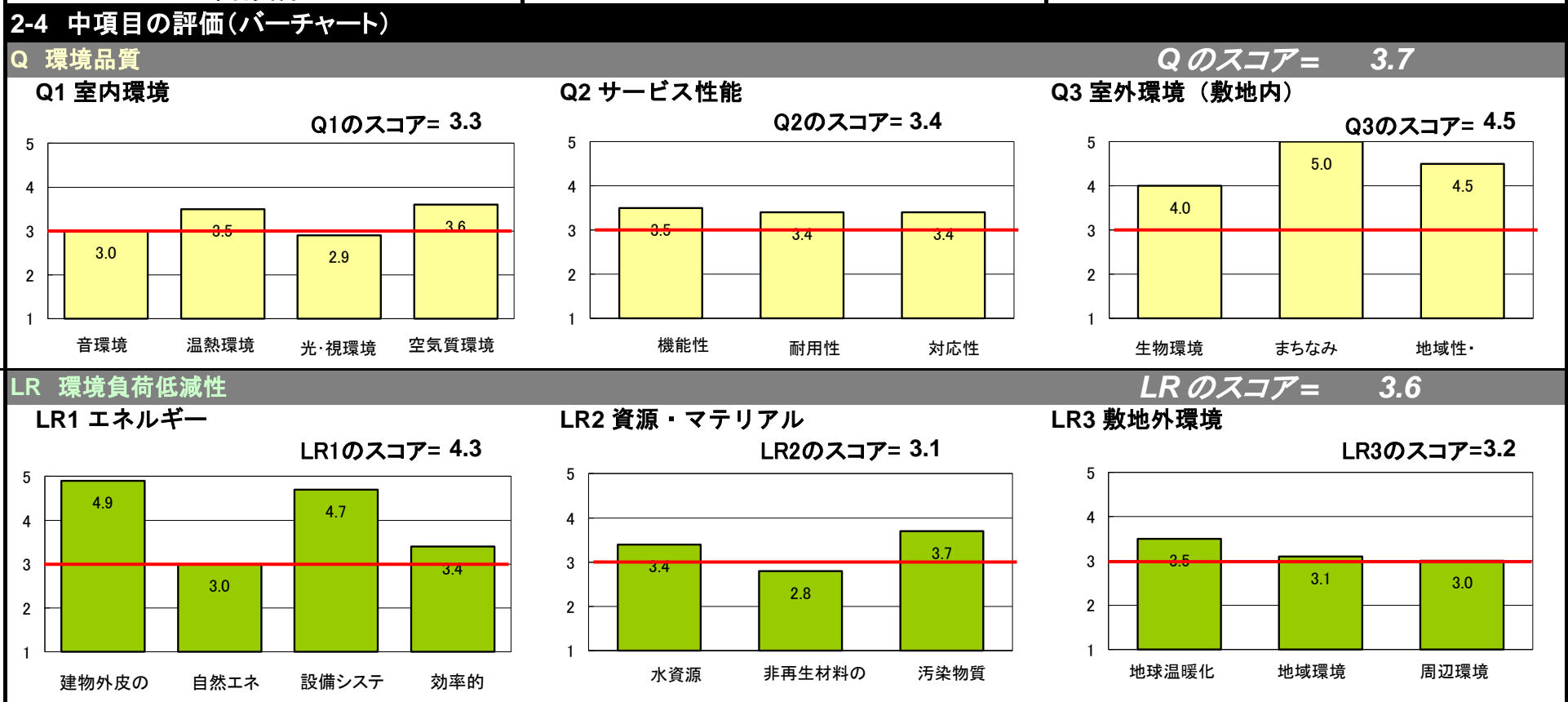
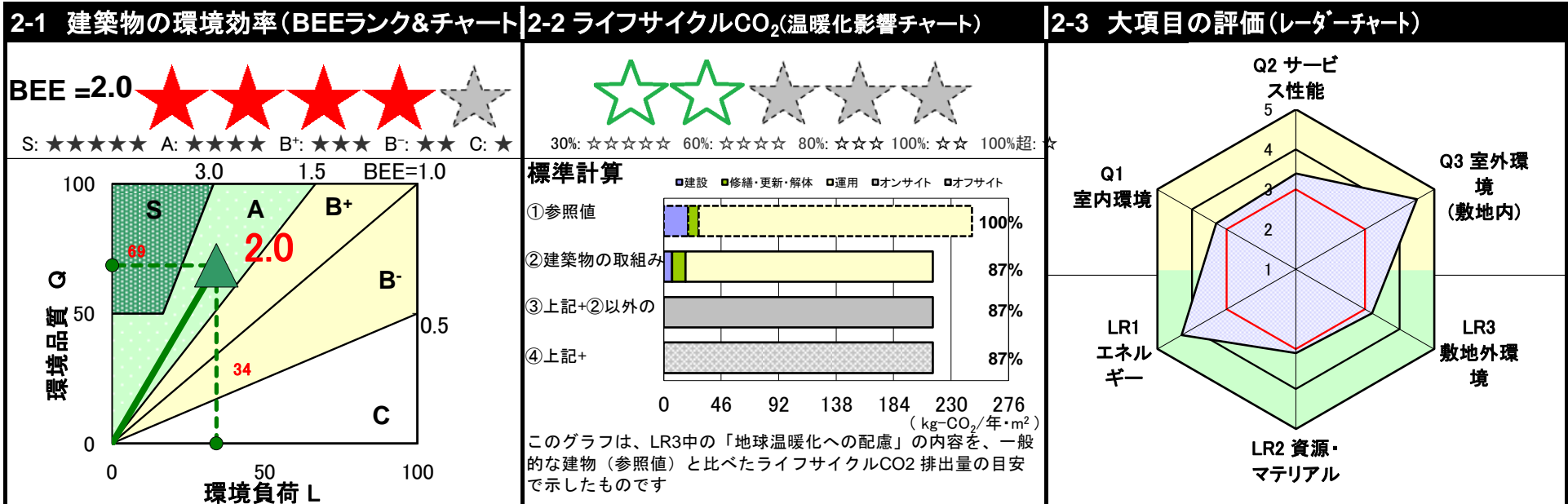
■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	hitoto広島TheTower	階数	地上53F
建設地	広島県広島市中区東千田町一丁目1番66	構造	RC造
用途地域	第2種住居専用地域、準防火地域、	平均居住人員	2,655 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集会所,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2020年3月1日
敷地面積	19,869 m ²	作成者	株式会社三菱地所設計 神例 賢
建築面積	2,390 m ²	確認日	2020年3月5日
延床面積	71,875 m ²	確認者	株式会社三菱地所設計 神例 賢



3 広島市の重点項目		
<p>重点項目の総平均スコア = 3.6</p>		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.6</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能評価 断熱等性能等級4の性能を確保し、建物の熱負荷抑制に配慮している / 特になし / 潜熱回収型給湯器やLED照明等の採用により、設備システムの効率化を計っている / 特になし / 漏水設備に雨水を利用・躯体と仕上げ材の分離容易なLGS工法の採用等により、資源・マテリアル対策に配慮している / 雨水貯留槽・浸透設備等による雨水流出量の抑制・ディスプレイ設備の設置による廃棄物負荷の抑制などにより、ライフサイクルCO₂の排出率を87%としている</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 3.7</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 敷地と周辺の既存樹木・生き物等調査を実施、生物環境保全に配慮した緑化計画等を作成。建物の一部を地域に開放することで地域性・アメニティへに配慮した計画としている / 建物の規模に応じた駐輪台数・駐車台数を確保可能な施設を設置し、交通負荷抑制に配慮している</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.3</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 免震装置を採用・住宅性能評価 劣化対策等級3の性能を確保するなど、建物の耐用性向上に努めている / 特になし</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される